

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

みんな目指した太鼓岩

宮浦小学校 五年 山崎 一那

「山に登りたいな。」

大阪から遊びに来てくれたお母さんの友だちの愛ちゃんがそう言ったので、愛ちゃんのめいのさくらと私たち家族六人で、太鼓岩に登ることになりました。

みんなで準備運動をして階段の一だん目を登りました。するとなんだか楽しくなってきた。私たちは走り出しました。最初は上り

の階段だらけでした。

太鼓岩に行く途中には、たくさん杉や植物、動物に出会いました。その一つに「七本杉」がありました。七本杉はまっすぐ伸びた幹の上部が強風で吹き飛ばされ、そこから七本の杉が生えたことから七本杉と言われている。でも、今はもう、七本ないそうです。私が数えてみると六本ありました。この七本杉は、白谷で一番立派な屋久杉と言われているそうです。

16. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

しばらく行くところ「鹿の宿」と名付けられた
 切りかぶがありました。切りかぶの中には
 鹿のはいれるような穴があります。雨の日に
 鹿が雨宿りする様子をイメージして名付けら
 れたそうです。私たちも、その中に入って写
 真を撮りました。
 「もうすぐ太鼓岩だよ」
 お父さんが言ったとき、みんなの足がとまり
 ました。そこにあつたのは、「雷おんじ」と
 いう杉でした。雷に打たれた杉を見て、永田
 小の人が名付けたそうです。意味は「雷おや
 じ」だそうです。
 と、中、やくしがやくざるにも会いました。
 こんな大きな杉たちと一緒にくらしっているん
 だなあと思いました。
 「くぐり杉」という幹の下の方が分かれ、大
 がくぐれる杉もありました。自然にこんな風
 になるなんてすごいいと思いました。
 「苔むす森林」と名付けられた場所もありまし
 た。そこは、アニメ「もののけ姫」のモデル

No. 2

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

になつた場所です。見ていると、なんだか、
 あちこちからこだまが顔を出してくるようで、
 深い緑に吸い込まれそうでした。
 苔むす森から五十分くらいで、ついでとうげ
 に着き、そこで一休みすると、ラストスパ
 ト、太鼓岩まで急な階段、どろ道を登り始
 めました。はあはあ、と息を切らせて登って
 くと、岩の頂上に着きました。太鼓岩でした。
 岩の上に登って見てみると、私はこわすぎ
 てたおれそうになりました。足が進まず、
 っこわい、こわい。
 と言ってしまいました。でも、顔を少し上げ
 ると緑の森や川などが目に飛びこんでまし
 た。すーっとつかれが消えていくようでした。
 白いきのこ、ハートの葉っぱ、ふわふわの
 こけ、こけの先のしずく、おれた木の上から
 芽を出す新しい木。登山はつかれたけど、色
 々な木や何百年も何千年も静かに立っている
 こと、小さな植物が一生けん命生きているこ
 とを感じる事ができました。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

